

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道393号 赤井川道路 <small>あかいがわ</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道余市郡赤井川村字都 <small>よいち あかいがわ みやこ</small> 至：北海道虻田郡倶知安町字大和 <small>あぶた くつちゃん やまと</small>	延長 16.4 km	
事業概要 一般国道393号は、小樽市から赤井川村を経て倶知安町に至る延長約59kmの主要幹線道路である。このうち赤井川道路は、交通不能区間（約6.4km）を解消し、ニセコ・羊蹄地域とキロロリゾート及び小樽との観光リゾートネットワークを形成するほか、地域の連携強化を図ることを目的とした延長16.4kmの1次改築事業である。		
S57年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	S61年度用地着手
全体事業費 約280億円 事業進捗率 90% 供用済延長 4.3km		
計画交通量 1,700台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 13.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 40/310億円 事業費 ：22/292億円 維持管理費 ：18/18億円
総便益 (残事業)/(事業全体) 536/536億円 走行時間短縮便益：513/513億円 走行費用減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：2/2億円		基準年 平成15年
感度分析の結果 全体事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.8（交通量+10%） B/C=1.6（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.6（事業費+10%） B/C=1.9（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=1.5（事業期間+20%） B/C=1.8（事業期間-20%）		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワーク構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・個性ある地域の形成（後志地域のリゾート開発プロジェクトを支援する） 他7項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 一般国道393号は、地域間の交流促進や災害への備え等に重要な役割を果たすことが期待されており、赤井川村や倶知安町など1市1町1村の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成15年度より後志地域観光交流空間づくりモデル事業が行われている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 昭和61年度に工事着手後、平成14年度までに赤井川村側の4.3kmが整備済みとなっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地取得が順調に進めば平成17年度頃に全線供用を図る予定である。		
施設の構造や工法の変更等 のり面アンカーやのり枠への新材料採用、のり面小段排水の見直し及び枠内植生の変更などのコスト削減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。